

貸出金の状況

貸出金残高

4,756億円

貸出金は、伴走型営業を通じた金融支援や、ローンセンターによる住宅ローンの推進等により、期末残高は前期比 4.30%増加の 4,756 億円と 11 期連続で増加しました。

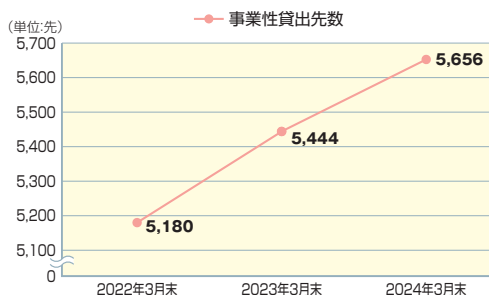
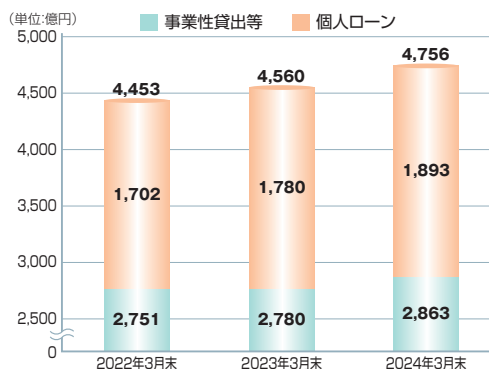
事業性貸出先数

5,656先

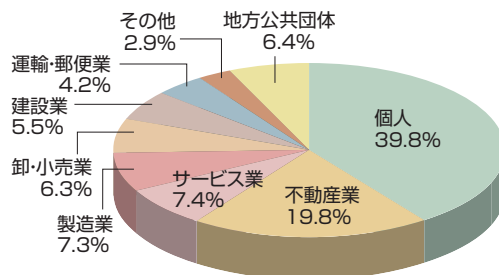
事業性の貸出先数は、ビジネス情報の提供や本業の支援に積極的に取り組むなど、経営上の課題解決に繋がる活動を通して新規のお客様との接点を強化した結果、年間 212 先増加の 5,656 先となりました。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の 93.5% は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめ地域のお客様に幅広くご利用いただいています。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。

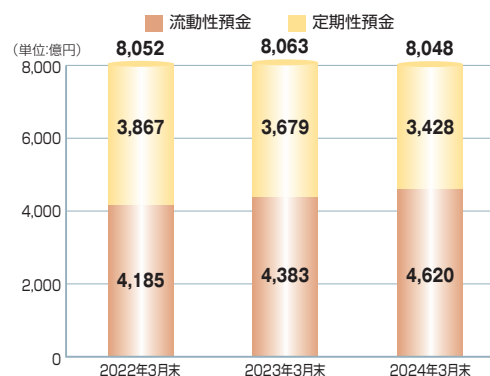


預金積金の状況

預金積金残高

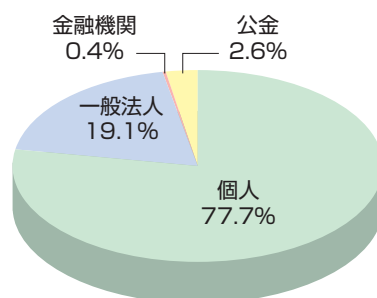
8,048億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替など、基盤取引の推進に取り組むとともに、非対面チャネルの拡充に努めたものの、公金預金の減少により期末残高は前期比 0.17%減少の 8,048 億円と 7 期振りに減少しました。



預金者別預金残高構成比

地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は 77.7% となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。

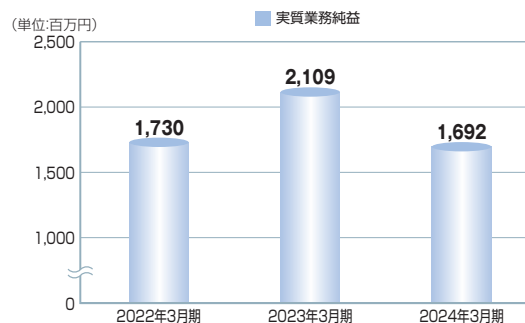


損益の状況

実質業務純益

16億円

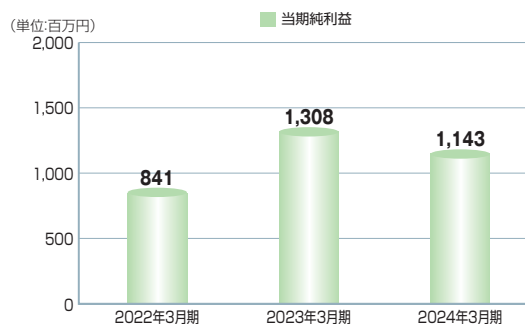
本業の利益を示す実質業務純益は、経費の増加等により、前期比 19.75% 減少の 16 億 92 百万円となりました。



当期純利益

11億円

当期純利益は、広中央支店建替えにかかる特別損失を計上したこともあり、前期比 12.66% 減少の 11 億 43 百万円となりました。



自己資本の状況

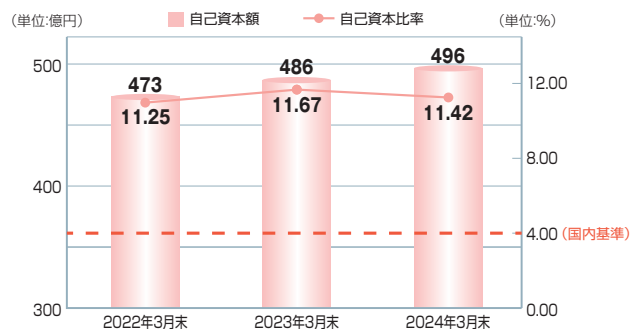
自己資本比率

11.42%

自己資本額

496億円

自己資本額は前期比 2.08% 増加の 496 億円となりましたが、リスク・アセット等も前期比 4.29% 増加したことにより、自己資本比率は前期比 0.25 ポイント低下し 11.42% となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準 4% (規制値) を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況 (金融再生法ベース)

不良債権比率

3.85%

不良債権額

183億円

事業再生先への支援に取り組んできた結果、不良債権額は前期比 7 億円減少の 183 億円となりました。不良債権比率は前期比 0.34 ポイント低下の 3.85% となりました。

なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。

